

狂犬病予防注射ハンドブック

～ 狂犬病予防注射を受けるための心得～

1. 狂犬病予防注射(集合)会場へ出かける前の注意

- 1) 適正な接種を受けるために、犬の健康状態をチェックしてから予診票に該当する事項を記入して市町村の案内ハガキと一緒に又は、案内ハガキの表面に印刷されている予診票欄に記入して持って行くこと。
- 2) はじめての場合は、健康状態がよければ会場へ連れて行き登録手続きをする。
- 3) しっかりと犬を保定出来る人が連れていくこと。
- 4) 首輪は抜けないようにきちんとつけていくこと。
- 5) 咬む危険性のある犬は、市販の口輪などをして口が開かないようにしていくこと。
- 6) 出来るだけ清潔にしていくこと。
- 7) 会場に行く直前の過度な運動などはさけること。
- 8) 最近、ジステンパー、パルボウイルスなど他の予防注射をしているか、何かの病気で治療中又は直後の場合は、主治医に問い合わせしてからにすること。

2. 狂犬病予防注射(集合)会場で注射をする時及び注射後の注意

- 1) 受付、注射は所定の場所に順番に並んで行うこと。
- 2) 記入したハガキ、又は予診票を提出し、獣医師の問診には簡単にわかり易く答えること。
- 3) 注射時は正しくしっかりと犬を持つこと。
- 4) 注射後は出来るだけ安静にして2～3日はシャンプーや激しい運動はさけること。
- 5) 注射後、ジステンパー、パルボウイルスなど他の予防注射をする場合は、獣医師に狂犬病予防注射の接種日を報告し相談すること。
- 6) 注射後、一過性の疼痛、元気食欲不振、下痢、嘔吐、又は体質によってアレルギー反応(じんま疹のような症状など)やショック反応(ぐったり、呼吸速迫、呼吸困難、ふるえ、けいれんなど)を示すことがあります。このような時は直ちに主治医又は最寄りの獣医師に連絡すること。
- 7) 会場で健康上の理由により注射を猶予された場合は、出来るだけ早く主治医又は最寄りの獣医師に改めて診察を受け、接種について相談すること。

3. 病院で狂犬病予防注射をする場合

病院の獣医師の指示に従い、犬の健康状態に応じた注意をまもり実施すること。

以上